

Merry X'mas and A Happy New Year !!

気が早いと思ったそこのあなた。2019年も残り1ヶ月ですよ！（第29号が1月中旬の発行になる予定なので、今のうちに両方併せて言うておきました。）

さて、去る2019年の一番の思い出といえば何ですか？3年生になったこと、部活動を引退したこと、体育祭や文化祭で頑張ったこと、受験勉強が大変だったこと、受験でうまくいったこと、うまくいかなかったこと、・・・思い返せばたくさんの思い出が蘇ってくるのではないのでしょうか。

とは言ってもまだまだ高校生活は残っています。残りの時間をいっぱい使って、自身の目標を達成させられるように、引き続き頑張ってください。2020年の春を心から楽しむために、今、できることをやっいてこう！**Keep Tryin'!**

※12月前半・1月前半の予定

	月	火	水	木	金	土
	12/9	10	11	12	13	14
A週	中間考査④	65×3	50×5	堺支援学校交流会		
	16	17	18	19	20	21
B週						
	23	24	25	26	27	28
A週	ラストお弁当!	50×3 集会 大掃除	センター チャレンジ	センター チャレンジ		
	30	31	1/1	2	3	4
	学校閉庁日	学校閉庁日	学校閉庁日			
	6	7	8	9	10	11
B週		65×3	65×3	65×3	65×3	
	13	14	15	16	17	18・19
A週	65×3	65×3	65×3	65×3	65×3	センター試験

注: 宅配ピザ等禁止!

注意) 行事予定は、上表に書かれているもの以外に突然変更になることがあります。教室掲示された予定表を確認し、担任の先生の話をよく聞くようにしてください。

【保護者の方へ】「先輩」保護者からのアドバイス 保護者が受験に向きあう時

保護者の方は、受験を控えたお子さんの環境をできるだけよいものにしたいと思っていられることでしょうか。そこで、以前にお子さんの受験を経験された保護者の方の「受験生への接し方」をご紹介します。

子供が「SOS」を出したときに、周りの人みんなで支えました。 埼玉県 K.N さん

センター試験の結果がよくなかったのか、試験後は落ち込んでいました。数日間は勉強が手につかなかったみたいです。いつもは明るい子なのに、このままでは合格は危ないと思い、単身赴任の父親や大学生のいとこなどに連絡して、電話で励ましてやってくれないかとお願ひしてみました。父親は「失敗を恐れず気楽にやればいいじゃないか」と言ってくれました。いとは「合格したら一緒に海外旅行に行こうよ」と言って、やる気にさせてくれたみたいです。親の力では勉強面のサポートはほとんどできませんが、精神的な面では支えられる力は大きいはず。普段はできるだけ平常心を装い、子どもが「SOS」を出したら、周りの人たちが支えてあげればいいのかではないでしょうか。

常に親子で行動したことがよい息抜きに。 兵庫県 H.S さん

私と娘は小さいころからウマが合うというか、よく一緒に行動していました。受験勉強の参考になれば私の経験を聞かせたりして、アドバイザー役を務めたこともあります。父親は地元の大学を勧めたのですが、娘は東京にある難関大を志望したので考えがぶつかることに。そこで「お父さんを説得するには成績を上げるしかないわよ」とアドバイスすると、目の色を変えて勉強するようになりました。でも、頑張り過ぎて精神的に余裕をなくしてはいけないと思い、リラックスさせることにも努めました。センター試験が終わった日は喫茶店で会話を楽しみましたし、試験の前に一緒に買い物に行ったりもしました。また、大学の下見にも同行し、受験当日も門までついて行きました。親子で一緒に行動することで娘には励みになり、よい息抜きになったようです。

食事を通して親子のコミュニケーションを図りました。 兵庫県 A.O さん

息子は12月の初めに夜型から朝型に切り替えました。私も息子が生活のペースをつかみやすいように、毎日の食事を決まった時間に作っていました。私が息子の受験のために特別にしてあげたことは、食事作りくらいですね。受験が迫ってくると、風邪をひかないように栄養価の高いものと考えながら作っていました。そのせいか受験も順調だったようです。息子も「僕が合格できたのもお母さんのご飯のお陰だな」と言ってくれました。食事のことでよかったと思うのは、それにより息子とのコミュニケーションが図れたことです。受験勉強が忙しくなると子どもと話をする時間は少なくなってしまうので、食事時には努めて話をするようにしましたが、お互いに考えていることがわかり合えたり、息子も会話することでよい息抜きになっていたようです。

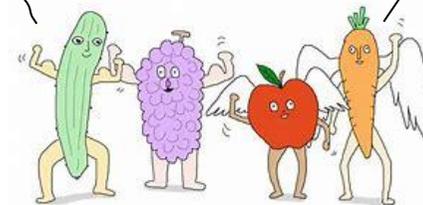
子供がやりたいように見守ってあげました。 大阪府 S.I さん

すべて本人のペースに任せることにしていました。親は心配してつい口を出したくなりますが、じっとこらえるようにしたのです。こうした親の態度が子どもに合ったのか、成績は常に安定していました。年が明けてからも家庭環境を少しでもいい方に保つこと、いつも優しいまなざしで接することを心がけていました。でも受験が近づいてくると、子どもはなぜか携帯電話で友達と電話ばかり。私も気になって、つい「それでいいの?」と言ってしまうことがあったのですが、本人にとってはそれが最大の息抜きになっていたようでした。電話をしていないときは、頭を切り替えてじっと机に向かっていましたから。結果的には、それが一番よかったみたいです。受験は本人の頑張りにかかっていますが、親は信頼して見守ってあげることが何よりも大事だと思います。

冬休みセンターチャレンジ

12月25日(水)と26日(木)の2日間かけて、センター試験と同時間割でセンター試験の予行練習を行います。採点は自己採点のみで判定や順位は出ませんが、正確に自己採点をする練習であったり本番に準拠した解答用紙を用いるなど、本番を想定した直前模試となります。冬休みにやるべきことの最終確認として活用してみてください！センター試験を受験しない人も申し込む事ができます。

申込については「申込用紙」を配布しています。12月3日(火)の放課後に職員室前で受付を行います！ICプレーヤーも使用する予定やで！



2019 センター試験 英語リスニング問題の第1問のイラストより